

# 「今」が未来をつくる

この小冊子「今が未来をつくる」は、学部学生ご父母のみなさまを対象として、  
明治大学及び父母会の情報をwebサイトとの連動性を高め提供するものです。

獨立自治  
權利自由



## 「つながる」カタチ

2020年度 明治大学連合父母会副会長  
寺島 広志

<https://www.meiji-parents.jp>

明治大学父母会



明治大学父母会

# 明治大学レインボーサポートセンター ホームページ開設

「明治大学レインボーサポートセンター」のホームページが開設されました。同センターは、本大学の学生に対する多様な性に配慮した諸施策を推進することにより性の在り方にかかわらず、すべての学生が適正に教育研究その他の活動をできる環境の整備及びあらゆる多様性を受容・尊重できる価値観を有する人材の育成に資することを目的として本年2月に設置された機関です。

コロナ禍の現在は、学生生活で困っていること、悩んでいること、伝えたいことなどの相談に、遠隔形式(電話/オンライン)で対応しています。詳しくはホームページをご覧ください。

## 相談例

- ・大学生を送るうえで困っていることがある
- ・授業での呼称に違和感がある
- ・通称名を使いたい
- ・進路で悩んでいる
- ・友人からカミングアウトされたけど、どうしよう
- ・同じような悩みを抱えている人と話したい
- ・性別に違和を感じる
- ・女性らしさ、男性らしさ、〇〇らしさに違和感がある
- ・性的指向にまつわる人間関係のことで悩みがある
- ・友人、家族のことで気になることがある
- ・Ally(支援者)について知りたい



## 問い合わせ先

学生支援事務室 03-3296-4605 ※相談予約専用電話(平日9:00~17:00)  
(明治大学レインボーサポートセンター事務局)  
<https://www.meiji.ac.jp/campus/rainbowsupportcenter/index.html>



## TOPIX

### 10月28日を「校歌の日」として制定

この度、10月28日が「校歌の日」として制定された。100年前の1920年10月28日にハーモニカソサエティの演奏によって明治大学校歌が社会的に公表されてから100年目となる、2020年10月28日を校歌誕生100年の記念日とするとともに、以降の10月28日を「校歌の日」として、学生・校友・父母・教職員ならびに関係者とともにも校歌を歌い継いでいく日として定めた。

この「校歌の日」制定にあたっては、100年前に、学生たち自身の手によって校歌が作られたように、100年後の学生たちによって校歌を歌い継いでいこうという学生発のムーブメントが沸き起こったことも特筆すべきことだ。

その一端を担った校歌誕生100年記念プロジェクトのリーダーを務めた高橋昇吾さん(経営4)は、制定を喜ぶとともに「校歌を通じて明大生であることに誇りを持ち、挑戦する原動力になりたい」と、活動を通じての学びや、出会い、感動に感謝した。



「校歌の日」イベントであいさつする高橋さん

## INDEX

- 4 「ガクの情コミ」の取り組み  
情報コミュニケーション学部長 須田 努
- 6 M-Navi プログラム『神宮へ行こう!』  
— 野球部とオンライン交流会 —
- 8 「つながる」カタチ  
2020年度 連合父母会 副会長 寺島 広志
- 9 「めいじろう」のLINEスタンプ第3弾が誕生しました
- 10 父母交流会  
第16回明治大学父母会オンライン交流会  
父母による父母のためのオンライン交流会
- 13 惑わされずに 2022卒の就職活動  
就職キャリア支援事務長 小林 宣子
- 14 祝・卓球部創部90周年 OB交流戦  
「ドリームゲーム」
- 16 「学生食堂 OCHAMEIJIN」  
明治大学応援団応援指導班  
政治経済学部4年 杉岡 晃多さん
- 18 明治大学校歌 誕生物語 (4・完)  
飯澤 文夫 明治大学史資料センター研究調査員

## 「ガクの情コミ」の取り組み

情報コミュニケーション学部長 須田 努 (すだ・つとむ)

「異文化コミュニケーション史」「社会文化史」担当  
研究テーマは「社会変容と民衆暴力」日本近世・近代史



明治大学連合父母会のみなさま、今年4月に情報コミュニケーション学部長に就任した須田努でございます。通常ならば、初夏の段階で父母のみなさまにお会いしてお話するはずでしたが、かなわず残念です。

コロナ禍は、10月の段階でも収束していません。ご父母のみなさまには、ご心労のことと思います。明治大学の「活動指針」レベルは2であり、秋学期もオンラインを中心にした授業形態となりました。ただし、全学の方針から逸脱しない限り、学部独自の取り組みは可能となっています。以下、コロナ禍における情報コミュニケーション学部(以下、情コミ学部)独自の取り組みをお話しようと思います。

情コミ学部は4月から「ガクの情コミ」を掲げました。「ガク」とは学と楽を意味します。学問・研究とは楽しいものである、という宣言です。教員は研究をすすめる、学生は学問に取り組む。われわれ教職員はその環境を創り維持していく、という取り組みです。コロナ禍の中でもこの宣言はおろしません。

学生たちは、通常授業(対面授業)を求めています。われわれ情コミ学部の教員はみな通常授業再会を切に願っていますが、情勢はそうはいきません。そのような中で、春学期は講義・ゼミ両科目ともに全面オンライン授業でした。1年生は、一度もキャンパスでの学生生活を体験できませんでした。学生たちのストレスはたまっていました。ところが、情コミ学部の学生たちはコロナ禍の中でもよく勉強しました。わたしが担当した1・2年生対象の「異文化コミュニケーション史」は、多くの課題を出し勉強させる講義として有名となっています。コロナ禍でもその方針は変わらず、毎回リアクションペーパーを提出させ、2回のミニテストも行いました。学生はじつによく勉強しまし

た。わたしは、この科目を10年以上講じていますが、今年の学生がもっともよく勉強しました。コロナ禍の中、この課題に取り組んでS評価をとった学生は、わたしの誇りとするところです。

はなしをオンライン授業にもどします。この授業には①オンデマンド型、②リアルタイム配信型、③資料課題提示型といった3タイプがあります。学生アンケートで評判が悪かった③を情コミ学部では全面廃止としました。秋学期の講義科目では学生アンケートで評判がよかった①が中心となっています。次に、ゼミナール科目について簡単に紹介します。情コミ学部はゼミナール教育に力を入れ、各学年にゼミ(20人以下)を設置しています。秋学期、ゼミではコロナ対策を充分行った上での対面授業を取り入れることとしました。ただし、出席を強制しない、御父母の承諾を得る、などのハードルをもうけてあることは言うまでもありません。

さらに、情コミ学部は、秋学期にさまざまな学部独自のイベントを計画しています。9月26日には「情コミオータムガイダンス」を実施しました。

4月にできなかった新入生向けガイダンスです。台風が迫る雨模様でしたが、7割弱の1年生が和泉キャンパスに集合、相互にコミュニケーションを図っていました。10月からは、1・2年生を対象に「情コミ・オンライン」を展開します。オンラインを利用し、教員・職員・助手・大学院生・先輩たちが、学生さんの質問・不安に応えるコーナーです。これは、春学期に実施し好評であったものです。そして、12月には、「ガクの情コミ」バーチャル研究交流会を計画しています。2~4年生が実行委員となり、基礎ゼミ学生(1年生)と3・4年生ゼミ生との研究交流会です。



情コミには様々な分野の教員がいるため、学生は縦横無尽に研究テーマを設定することができます。ただし、3・4年生の2年間、ゼミは固定となります。じっくり研究に取り組むためです。この「ガクの情コミ」バーチャル研究交流会は、1年生の段階から、3・4年の専門的なゼミの雰囲気



知ってもらおう、という意図で計画しました。これも「ガクの情コミ」ならではの企画です。

そして、情コミ学部は多様性も看板としています。国際交流に関しても、学部間交流を大切にしてい、アジア圏・ヨーロッパ圏・北米圏の各大学との留学の枠を拡げてきました。残念ながらコロナ禍の中では現地留学はかきません。しかし、情コミでは「オンライン・プレ留学」というものを企画しました。海外の大学の講義をオンラインで受講するシステムです。コロナ禍終息後もこのシステムは稼働させ、すでに展開している「世界のキャンパスから」と現地留学との間に位置づけ、国際交流を立体的に組み立てていきます。

コロナウイルスによるパンデミックは社会だけではなく、学問研究や大学のあり方もかえています。今、大学の原点が問われています。大学は就職予備校でも遊園地でもなく”研究し学ぶ場”であるということです。われわれ「ガクの情コミ」はそれを実践していきます。コロナ禍に立ち向かうのではなく一緊張の連続は疲労をまねき、それは油断につながりますので一、これを情コミらしく”しなやか”にかわし、「ガクの情コミ」を進めていきます。期待してください。

<https://www.meiji.ac.jp/infocom>



## M-Naviプログラム

# 『神宮へ行こう!』

— 野球部とオンライン交流会 —

M-Navi 学生委員会委員長

理工学部3年 風間 泰斗(かざま・たいと)さん (埼玉県)



私たち M-Navi 学生委員会は、明大生が学部・学科の中で学び身に付ける「基礎学力」や「専門知識」に加えて、それらを上手く活用していくための「力」(社会人基礎力)を身に付けるためのナビゲーターの役割を果たす学生支援プログラムの1つとして活動しています。具体的には、芸術鑑賞を通じて「本物に触れ幅広い教養を身に付ける機会」や、OB、OGが働いている企業を訪問する「社会体験の場」などの提供を行っています。このようなプログラム(M-Navi プログラム)は、企画立案、実施に向けての準備、当日の運営、振り返りまで、有志の学部学生(学生委員)と教職員が相互に意見を出し合う「協働」で実現しています。

例年であれば、年間で約15のプログラムを実施していますが、今年は新型コロナウイルスの影響を受け、対面形式でのプログラム実施ができなくなりました。当初より実施を予定していたプログラムについては、来年度以降に延期か、オンラインでの実施を検討するか、非常に悩ましい選択を迫られました。それでも各プログラムリーダーを中心に会議を重ね、教職員の方々の協力を得ながら各プログラムに見合った準備を進めて参りました。

そんな中、毎年実施している『神宮へ行こう!』プログラムについては、10月初旬にオンライン上で野球部選手との交流会を実施することが出来ました。このプログラムは、明大生の帰属意識を向

上させることを目的としたもので、神宮球場での観戦や選手との交流会・寮見学を行っている毎年人気の高いプログラムです。昨年度より父母会のみならずから応援タオルのご支援をいただき、神宮球場での応援観戦の際、応援席でタオルとともに校歌も歌って応援することができました。

今年も応援タオルのご支援をいただくことができましたので、オンラインでの交流会の場で活用させていただきました。ありがとうございました。参加者の学生は、Zoomのチャット機能を用いた質問コーナー、グループ分け機能を利用した座談会等を通して、野球部選手のみなさんとの対話ことができました。普段とは異なる画面越しでの交流でしたが、「楽しかった」や「貴重な話を聞くことができた」などの声を多くいただきました。

実施に向けた準備では、前例のない手段だけに戸惑うことも多かったです。例えば、参加者の募集方法では新たに、使用するZoomのURLを明大生全体に提示する当日参加型を初めて導入しました。これは、従来の『参加したい学生が、Oh-o!Meiji上でのアンケートで事前に回答する』形式と比べて、より手軽で参加しやすいメリットがあります。これもオンラインならではの方法と言えるでしょう。

プログラムに限らず、この半年間では新規学生

## WHAT'S M-Navi ??



M-Naviとは“Meiji Navigation”を縮めたもので、明治大学で学ぶ学生をナビゲートするという意味を表しています。

M-Navi プログラムは、学部や学科の中で学び身に付けていく「基礎学力」や「専門知識」に加えて、それらをうまく活用していくための「力」(社会人基礎力)を身につけるためのナビゲーターの役割を果たす学生支援プログラムの一つです。

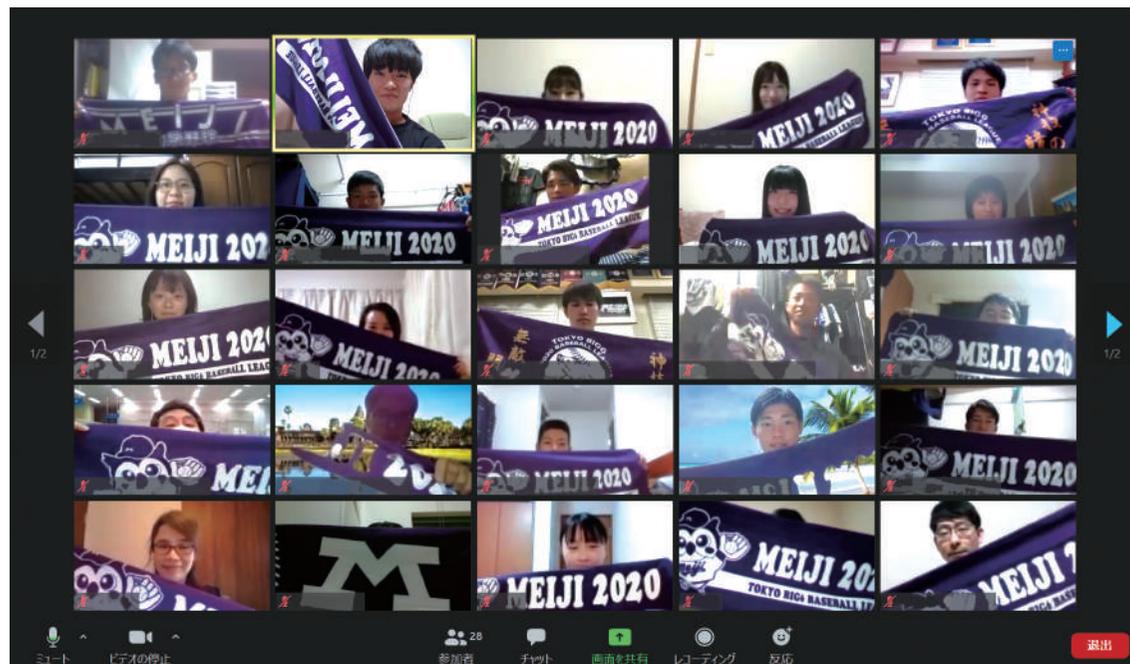
具体的には、芸術鑑賞などを通じて「本物に触れ幅広い教養を身に付ける機会」や、本学の先輩が働いている企業を訪問する「社会体験の場」などの提供を行っています。運営は、教職員と有志の学部学生(M-Navi 学生委員)で構成されるM-Navi 委員会が担っています。

<https://www.meiji.ac.jp/campus/mnp/6t5h7p00000hfuo7.html>



委員の募集についても試行錯誤をしてきました。募集時期を2回に分け、SNS上での活動紹介やオンライン説明会を積極的に行った結果、10月初旬現在で新たに10名の学生が入会しました。既にZoom上で既存のメンバーと新規メンバーとの顔合わせを開始しております。

現在も私たちは、新しい生活様式に見合ったプログラムの企画・実施に向けて準備をしております。M-Naviがこれまで培ってきた15年の経験を基に、M-Naviだからこそできる『参加者が、楽しみながら成長できる場所』を今後も明大生に向けて提供していきます。



# 「つながる」カタチ

2020年度 連合父母会 副会長  
寺島 広志



『幸福だから笑うのではない、笑うから幸福なのだ』  
私の好きな言葉です。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、入学式はおろか、キャンパスに入ることも出来ず、学生、特に新生活に夢を膨らませて入学した一年生にとっては気の毒なスタートとなりました。学生だけでなく、父母の皆さまも我が子が大学に行くことが出来ない現状に不安を感じている方も少なくないと思います。

しかし、この困難の中、新歓実行委員会の学生達は、新歓の中止が決定した後も諦めずに「オンライン新歓」という形で実現してくれました。

応援団は7月末から、「コロナに打ち勝て、学生街」と、愛する学生街の飲食店を応援する学生食堂『OCHAMEI|IN』を始めました。明大祭実行委員会と生明祭実行委員会もシェイクスピアプロジェクトもオンラインでの開催を決めました。また、休学をして家業を継ぐための手伝いをしたり、留学のために語学の勉強を始めた学生もいます。

これは学生たちの活動のほんの一例ですが、学生たちは今の状況を苦しく辛い状況だと認めながらも「その中で今何が出来るのか」を探求し、実現しています。

今年度の連合父母会のスタートはZoomでの全国会長会議でした。各地区の新会長さん同士オンラインで会えていません。それどころか、連合父母会の役員同士ですら一度も会うことが叶いません。

学生には活動制限指針(レベル2)における、キャンパス内外で「感染しない。感染させない。」という原則に基づいて責任ある行動を求めています。お住いの地区によって新型コロナウイルスの感染状況は違いますが、私達父母も今は学生たちと同じ活動制限の下、「その中で今何が出来るのか」をポジティブに探究して実現していかなければいけない時期だと思います。

8月に開催した父母Zoom懇談会では多数の方にご参加いただきありがとうございました。10月には3年生の父母を対象にした父母Zoom就職講演会が開催され、11月29日からの父母交流会もZoomで開催する予定です。直接会えない今、Zoomを使用してオンラインで開催できることは、非常に有益で意義があると思います。

また、11月から連合父母会LINEがスタートします。友達登録をすることで、最新の情報を得ることが出来るようになります。

デジタルに慣れていない方も大勢いらっしゃると思いますが、是非ともこの機会にアプリをダウンロードして下さい。そしてオンラインでつながりましょう。新たなチャレンジの先には、今より少しだけ笑顔になっている自分がいるのではないのでしょうか。それはきっと今よりも少しだけ幸せになれることにつながると思います。

(福島県父母会顧問)

## 「めいじろう」のLINEスタンプ 第3弾が誕生しました

明治大学連合父母会は、公式キャラクター「めいじろう」のLINEスタンプ第3弾を作成し、株式会社明大サポートを通じて11月からLINEクリエイターズマーケットでの配信を開始しました。



アマビエは日本に伝わる妖怪です。海中から光を輝かせるなどの現象を起こし、豊作や疫病などに関する予言をしたと伝えられています。新型コロナウイルス感染症の早期収束を願って、妖怪アマビエとめいじろうがコラボレーションしました。



スタンプ名	明治大学公式キャラクター「めいじろう」3
販売開始日	2020年11月1日
販売価格	120円または50コイン*/1セット(8種類) *「コイン」はLINEのサービス内で使用できる仮想通貨です。
販売ページ	<a href="https://store.line.me/stickershop/author/93445/ja">https://store.line.me/stickershop/author/93445/ja</a>
制作・企画	明治大学連合父母会
販売	株式会社明大サポート



※株式会社明大サポートでは、売上の一部を奨学金として活用させていただきます。  
※LINEスタンプは、無料通話アプリ「LINE」上で利用できるサービスです。ご利用には、LINEへの利用者登録ならびにアプリのインストールが必要です。

第16回 明治大学オンライン父母交流会  
 父母による父母のためのオンライン父母交流会

「つながる」カタチ 11/29(日)~12/19(土)

特設サイト

<https://www.meiji-parents.jp/meeting-event16/index.html>



YouTube チャンネル

<https://youtube.com/channel/UCSa9LBMcVENvQHeEBHOT5qg>



今年の父母交流会は、参加型・視聴型のコンテンツを通して、父母の交流をオンラインで楽しんで頂ける内容となります。

テーマは、「つながる」カタチ

- ① Zoom でつながる
- ② Live でつながる
- ③ 関連イベントでつながる

TIME TABLE  
タイムテーブル

11月29日(日) 13:00 - 13:30	開会式	学生による開会式、来賓挨拶、開会宣言、開会挨拶	開会式
11月29日(日) 13:30 - 13:50	ライブ	ライブパフォーマンス	ライブ
11月29日(日) 13:50 - 15:00	特別編	特別編コンテンツ	特別編
11月29日(日) 15:00 - 15:30	質疑応答コーナー	質疑応答コーナー	質疑応答

学生の近況や最新の大学の取り組みを知るきっかけに。  
 父母による父母のためのオンライン交流会です。  
 ぜひ、みなさまのご参加をお待ちしています。

学生活動の紹介

例年、父母交流会で実演する学生団体のパフォーマンスを動画形式でお届けします。  
 パフォーマンス動画は、学生の皆様にご協力いただきました。  
 現役学生たちの素晴らしいパフォーマンスをお楽しみください！



混声合唱団



茶華道研究部



落語研究会



応援団

地区父母会紹介

各地区父母会の自作紹介動画をお楽しみください。



宮城県



長野県



福島県



兵庫県



和歌山県



徳島県

生Live  
配信



11月29日(日) 13時~開会式に続き  
 記念講演「北野家の訓え(おしえ)」  
 講師: 校友会長 北野 大(きたの・まさる)

## 惑わされずに 2022卒の就職活動

就職キャリア支援事務長 小林 宣子



父母会によるオンライン就職講演会10月17日を終えた翌週月曜日、19日の日経新聞朝刊1面には、「大卒内定者11%減 コロナ・米中摩擦響く」のタイトルで、同社がまとめた2021年春に入社する主要企業の大卒内定者数は、20年春入社と比べて11%減ったとの調査結果を発表しました。

新型コロナウイルスによる企業採用活動の影響については、就職キャリア支援センターにおいても企業や就職情報会社にヒアリングをおこなっています。

企業の方々と情報交換した際には、今年度と同

様の採用数を考えているといった話を聞くことも多く、全業界の採用活動に影響あるとは言えず、業界・企業によって影響が異なるという状況です。また、就職情報会社各社からも、採用環境についてはリーマンショックのときほどの大きな影響までいかなさうというお話をうかがっています。

とはいえ、2022年卒の就職活動については、新型コロナウイルスによる影響を受けることは間違いなく、各業界の動向をはじめとした正しい情報を正しく受け取り、地道な就職活動に取り組ん

で欲しいと思います。

就職キャリア支援センターでは、10月中旬から「自己分析」「業界・企業理解」「選考対策」といった

枠組みで支援行事を開催しています。これからも学生一人ひとりに寄り添った支援に、より一層、力を注いでいきます。

### 父母 Zoom 就職講演会

埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県首都圏11地区父母会と連合父母会の共催で10月17日、「父母 Zoom 就職講演会」が開催されました。対象は全国の学部生3年生ご父母で、事前の申し込み者数は約800名、当日の参加者は750名(対象の約11%)でした。

この父母会が主催する講演会は、新卒4年生を対象とした内定式が執り行われる10月1日を過ぎて、採用側企業や、学生たち3年生が、就職活動に本格的に向き合う10月中旬に開催されています。例年、就職キャリア支援部も全面協力をしており、首都圏父母会の皆さまは駿河台キャンパスアカデミーコモンで、中核都市圏の父母会は、それぞれの地域で開催していました。

今回は新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン開催となったことから、ご父母のお住いの地域にかかわらず、全国一斉にライブ配信されました。

#### ご父母の感想(アンケートより)

- ◎学生トークでは、それぞれに、それぞれの就活ストーリーがあると知り、規定の就活パターンに縛られ焦る必要はないのだという思いに至りました。
- ◎Zoom講演会は、地方でも参加し易いので、できれば、今後も時々、開催して頂ければと思います。
- ◎親の出来る事は子供を信じて見守ることかな、とつくづく感じました。
- ◎事前アンケートで留学のことを質問しました。帰国後にキャリアセンターに相談出来るという話や、オンラインでも相談が可能と聞き大変心強く思いました。

### 父母 Zoom 就職講演会を拝聴して

連合父母会長 小林 めぐみ



父母を対象とした就職講演会への参加は、兵庫県在住の私には初めての機会となりました。デジタル環境が整っていればどこに居ても視聴出来るというメリットを体感できました。また、今回パネリストとして登壇された学部の文系、理系、そして院生の学生はバランスの取れた自宅通学者の3名でした。次回は地方出身学生の就活体験なども聴ける機会をお願いしたいと感じました。親元を離れた環境の中での就活の実情についてなど、第二弾の企画として、こちらもデジタルツールを活用し全国のご父母にお届けできたらと考えています。

#### 主な支援行事

※学生の皆さんには、就職キャリアシステム「M-Career」でお知らせしています。

##### 企業研究手法理解講座(10月~12月) 業界研究・企業研究の仕方を理解する

- (1) 隠れ優良企業発見講座
- (2) 「働きやすい企業」「コロナに負けない有望業界」研究講座
- (3) 企業研究に役立つデータベースの使い方
- (4) 理系に優しい企業研究セミナー

##### 業界研究会(10月~12月) 様々な形式で業界動向を理解する

- (1) 複数社によるパネルトーク形式(文理不問)  
コンサルティング系・金融業界・BtoB・ファンが多い業界・街づくり+不動産・食品・飲料・IT情報通信・大学職員・広告業界・専門商社・化粧品/化学メーカー・国際物流(海運・空運)・マスコミ等
- (2) 講演形式(一部理系向け)  
自動車・医療機器・ロボット・化粧品・航空宇宙・精密機器・食品・IT・製薬等

##### 公務員向け(11月~12月) 公務員の業務を理解する

- (1) 国家公務員セミナー+OBOGインタビュー
- (2) 公務員業務比較セミナー(国・地方自治体パネルディスカッション)

##### 仕事研究セミナー(10月~1月)

『営業職・企画職の仕事理解』等、仕事をテーマに企業担当者によるパネルトークを開催。  
他大学開催分についても視聴可能

##### OBOG懇談会(10月~2月) 視野拡大や仕事理解を深める機会として

- (1) 学生キャリアサポーター卒業生によるOBOG懇談会(11月に2回)
- (2) 駐在員セミナー:海外駐在のOBOGにインタビュー。海外で仕事することのイメージを深める。
- (3) 4大学合同OBOG懇談会:主に理系向けに他大学合同形式で実施。
- (4) OBOG懇談会(12月~2月)全学部対象と理系学生対象に分けてそれぞれ実施。

##### オンライン交流会(1月~3月)

企業理解・仕事理解を深めることを目的に、オンラインでより多くの企業とつながる。

# 祝・卓球部創部90周年 OB 交流戦 「ドリームゲーム」

明治大学卓球部は10月18日、西調布合宿所で、現役学生とOBオールスターによる「明治大学卓球部90周年記念事業・ドリームゲーム」を開催。熱戦の末、現役部員チームが3-2のスコアで勝利した。試合の様子は卓球部の公式YouTubeチャンネルから配信中。

父母会スローガン「この感動を地方へ。全国へ。Mスポ全力応援宣言！」のもと、卓球界の王者、明治大学卓球部を熱烈応援している。



皇朝キリン '15卒 平野 友樹	第1試合 3ゲームマッチ	医学部 3年 西 康洋
TT彩たま '15卒 神 巧也	第2試合 3ゲームマッチ	経済学部1年 宮川 昌大
BOBSON '18卒 森岡 政崇	第3試合 5ゲームマッチ	医学部 4年 龍崎 東寅
スウェーデン '17卒 丹羽 孝希	第4試合 5ゲームマッチ	政治経済学部 1年 戸上 隼輔
木下グループ '13卒 水谷 隼	第5試合 5ゲームマッチ	医学部 1年 宇田 幸矢



明治大学卓球部 90周年記念事業  
ドリームゲーム公式HP  
<https://meiji-tt-dreamgame.jp/>



明治大学卓球部公式 youtube チャンネル  
<https://www.youtube.com/channel/UCACQzKM5OP12NFUXmm4gezA>



## コロナに負けるな学生街！ コロナに負けるな明大生！ - 「学生食堂 OCHAMEIJIN」 -

明治大学応援団応援指導班

政治経済学部4年

杉岡 晃多(すぎおか・こうた)さん (東京都)



こんにちは。コロナウイルスの感染が未だ収まらない昨今ではございますがいかがお過ごしでしょうか。我々明治大学応援団も本年度は例年行われていた合宿や練習、そして本業である応援活動に制限がかかっており、とても歯がゆい想いをしています。

私個人的には、1年生の頃から応援をし、辛い時は互いに励ましあい、団体は違えど常に固くつながっていた他の体育会の選手たちがこのコロナの状況下で頑張り、最後の力を振り絞り戦っている中、応援団として応援ができないことが非常に残念です。応援団のメイン活動についてもまさか

昨年の神宮での応援が父母会の皆様をはじめとした全国の「明治を愛する皆様」との最後の神宮応援になるとは思ってもいませんでした。

一学生としても授業がオンラインになってしまい、仲の良い友人と会う機会が減ってしまい、このまま卒業をしてしまうと思うととても寂しい気持ちでいっぱいです。今回とても感じたのは、当たり前の日常がいかに幸せで大切なものかということでした。

1年生は大変な時期に大学に入り、未だ入学式もできていない状況で、2年生はせっかく慣れてきた大学生活が一旦停止してしまい、3年生も就職活動等様々なことが一変し、みな歯がゆい想いをしていると思いますが、明治大学は学生に優しい大学でコロナでも様々なチャレンジができると思うので臆することなく毎日を全力で過ごしてほしいと思います。

応援団はそんな頑張っている皆様にいつも応援しています。

さて、今回はそんな応援団が今チャレンジしている企画についてご紹介させていただきます。企画名は「学生食堂 OCHAMEIJIN」です。

以下に公式HPにも記載されている全体責任者の横川の文を引用させていただきます。

明治大学周辺は世界一温かい学生街であると私は思っています。

日頃から学生に対して優しく、まるで本当の子供のようにお店の方々は私共のことを見守ってくれています。落ち込んだときに食べたあのカレーの味、テスト期間に勉強しながら飲んだあのコーヒーの味、部活動のメンバーと杯を交わした思い出の居酒屋。長年、学生から愛され続け、学生街ならではの活気が明治大学周辺にはありました。

しかし、現在コロナウイルスによりお店の活気が失われてしまいました。オンライン授業で学生が減り、惜しまれつつも閉店してしまっただけのお店があります。皆様の思い出のお店が少しずつ減っています。このピンチを皆様の絆で乗り切りませんか。愛する街の為、一致団結して、この思い出の地を未来に受け継ぎませんか。感染症予防を徹底し、皆様のご参加をお待ちしております。



情報コミュニケーション学部3年  
横川 樹来(よこかわ・じゅらい)さん (東京都)

<http://www.isc.meiji.ac.jp/~meijiouendan/ochameijin/overview.html>



この横川の文にもある通り、明治大学周辺には学生を本当の子供のように優しく接してくれる温かい飲食店がたくさんあります。しかし、学生街ということもあり、コロナウイルスの影響でオンライン授業が進んだ今では、以前の活気は薄れてしまいました。

そこで、現在では、我々の応援団のSNSを使い、飲食店を紹介させて頂いております。(10/8時点で48店舗の協賛)皆様に安心してご利用いただけるよう、アルコール消毒や東京都が発行する感染防止徹底宣言ステッカーの有無、他にも、メニューの写真やおすすめのメニュー、そして実際に訪れた団員の感想を発信しております。これを機に明治大学周辺の飲食店を訪れてください。

また、応援団発の企画ということで、300円以上ご飲食の場合、会計時に「応援団企画で来た」と店員の方に仰って頂くと、団員がデザインしたオリジナルステッカーがもらえ、そのステッカーを集めると枚数に応じて紫紺タオルをはじめとし

たプレミアムグッズがもらえるのでぜひ、この機会にご参加ください。

※プレミアムグッズの交換は「紫紺の集い」、または来年度以降の神宮での野球応援で致します。ステッカーはそれまで大切にお持ちください。



本企画は既に150回以上のご来店を皆様にして頂いております。「学生食堂 OCHAMEIJIN」特製色紙が貼ってあるお店が目印です！11月30日までの企画ですので、ご注意ください。詳しくはHP、Instagram、Twitterをご参照ください。コロナに負けるな学生街！コロナに負けるな明大生！



## 明治大学校歌 誕生物語 (4・完)

3回の連載で、〈我等が〉校歌が、武田孟、牛尾哲造、越智七五三吉の三人の学生の奔走により、詩人の児玉花外から作曲家の山田耕筰へ、耕筰から詩人の西條八十へ、八十から耕筰へ、そして学生たちの元へと、熱い思いのバトンリレーによって成立したことはご理解いただけたでしょうか。

現代社会で起きている現象の真相を同時代に考察する学問を考現学といますが、その提唱者である今和次郎は、1929(昭和4)年に刊行した『新版大東京案内』(中央公論社)で、「現在、街頭で最も多く歌われているのは明治の校歌である。それは在来の型を破った山田耕筰氏の高踏的な作曲の持つ純音楽の魅力である。歌詞が熱血詩人児玉花外の手になったのと思わせると興が深い。」と書いています。

こうして瞬く間に世間に知られ、100年の歴史を刻んできた校歌ですが、長く歌い継がれるうちに、成立時期とは歌い方や歌詞が違ってきているところがあったりも不思議ではありません。その最たるところが、次に紹介する幻のフレーズです。

花外の詞をみた耕筰が、学生たちを八十のもとに走らせて補作を依頼したことはご承知のとおりですが、実はその間に、耕筰は自分なりに手を入れた草稿を仕上げていました。しかし、八十の補作は洗練され完成度の高いものでしたので、歌詞はそのまま生かし、各番の繰り返しの前に、前の言葉の母音を延ばして歌う音引きという手法(例えば1番では前の言葉は「になふ」なので「う～う 明治その名ぞ」を用いたり)、各番末に、調子のいいフレーズをリフレインさせることにしました。

それが下のフレーズで校歌としては異例のことです。

いえい いえい 明治フレー  
 いえい いえい 明治フレー  
 MEIJI フレー  
 HIP HIP フレー  
 HIP HIP フレー  
 「明治」「明治」「明治」  
 フレー フレー フレー フレー  
 明治その名ぞ我らが誇り

「ヒップ ヒップ フレー」は応援などの掛け声です。

牛尾によれば、これは耕筰のオリジナリティで、耕筰はモダンにしてシックな形式と内容を盛るものであると自負していたそうです。武田も「山田先生留魂のところである」、すなわち、耕筰が明大に伝えたかった魂だと書いています。

耕筰は1930(昭和5)年に、本学教授で評論家、作家の畑耕一の作詞で『明治大学応援歌』も作曲しています。その際にも、「見よ 見よ 力! 『明治』!、『明治』! それいけ」、「trit-ta-ta-ta-ta trat-ta-ta (トゥリタッタッタッタ トウラタッタ)」などのフレーズを、鋭く切れるような、音楽的な掛け声として加えました。校歌共々耕筰の真骨頂というべきでしょう。そして、校歌の時のことを思い出したのでしょうか、徹底的に歌唱のコーチをしたいと来校し、併せて、校歌のねじも



絵葉書になった明大校歌

緩んでいると言って、自らピアノを弾いて正しい歌い方を示してくれました。

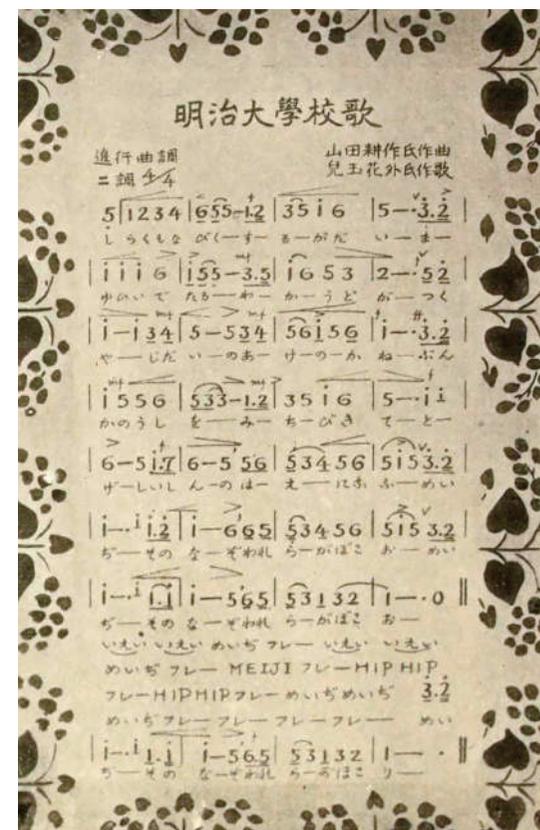
ところがこの耕筰渾身のフレーズは、一般学生が歌うには難しかったのでしょうか、また学生の一部に、校歌は大学の誇りであり手軽な応援歌ではないと考える者もあってか、いつしか歌われなくなり、忘れ去られてしまいました。

晩年病床の耕筰を見舞った武田がこれを詫びると、耕筰はいささかも気にせず、歌いやすいように変わっていくのが自然だと応えたそうです。

変っていくということでは、1番の「栄になふ」が「栄にのう」、2番の「我等健児」が「我等が健児」と歌われ、また音譜でも、冒頭「しらくも」の「し」は原譜では4分音符1音ですが、付点8分音符と16分音符の2音で記されたものもあります。

明治大学史資料センターでは校友会の協力のもとで、校歌制定100年を機にその原点を見つめ直すべく、専門家に耕筰の原譜と他の楽譜の比較検証を依頼、ピアニストと明大グリークラブOB会による元の楽譜の再現演奏、及びドキュメンタリーを製作しました。

幻のフレーズについての耕筰の思いは、再現演奏を監修された福岡英朗法学部事務長から、応援歌であるとの意識が強かったのではないかと示唆をいただきました。それと共に、作曲家團伊玖磨が指摘したとおり、通俗性に媚びず、颯爽と



ハーモニカ演奏用の数字譜(『法学部卒業記念誌』1921より)

眉を吊り上げて青年の意気を歌上げる〈強き光〉が、このフレーズを含む全体に横溢していると思います。

感動に満ちた再現演奏とドキュメンタリー「明治大学校歌の原型を聴く」が、10月25日に明治大学特設サイトで公開されました。検索エンジンで「校歌100周年」と入力し、幻のフレーズをご堪能ください。

校歌〈白雲なびく〉は、明大生への永遠の“エール”です。

(音引きについては耕筰研究家の久松義恭さんからご教示いただきました。また連載をとおして大学史資料センター村松玄太さんの協力をいただきました。)



飯澤 文夫 (いざわ・ふみお)  
 明治大学大学史資料センター研究調査員  
 明治大学元学術社会連携部長

応援しています

## 校歌誕生100年プロジェクト



### 明治大学校歌

児玉花外 作詞  
山田耕筰 作曲

Tempo di marcia ben marcato (♩=112)

しーらくもなびくーすーるーがだいまー  
ゆひいでたるーわーこーうどがつくやじだ  
いのあーけーのーかねぶんかのうし  
おーみーちーびきてとげしいしんのはー  
えーになうーめいじそのなぞわれらーがほこ  
うーめいじそのなぞわれらーがほこ

白雲なびく駿河台  
眉秀でたる若人が  
撞くや時代の暁の鐘  
文化の潮みちびきて  
遂げし維新の栄になふ  
明治その名ぞ吾等が母校  
権利自由の揺籃の  
歴史は古く今もなほ  
強き光に輝けり  
独立自治の旗幟し  
高き理想の道を行く  
我等が健児の意気をば知るや  
我等が健児の意気をば知るや  
霊峰不二を仰ぎつつ  
刻苦研鑽他念なき  
我等に燃ゆる希望あり  
いでや東垂の一角に  
時代の鐘を破るべく  
正義の鐘を打ちて鳴らさむ  
正義の鐘を打ちて鳴らさむ



### 学生たちが取り組むプロジェクト

10月28日が「校歌の日」として制定されました。

校歌誕生の歴史をはじめ、明治大学関係者へのインタビュー、サークルや体育会の動画など、校歌を通じた様々なコンテンツが続々と公開されています。

明治大学 校歌誕生100年記念プロジェクトWebサイト  
<https://www.meiji-koka100year-pjct.jp/>

